

SMILE

野々市中学校 1年学年便り NO.17 令和3年2月26日



職業講話がありました



今月4日に、10人の講師の先生方をお招きして、職業講話が行われました。それぞれ警察官、パティシエ、消防士、看護師、農業、ツアーコンダクター、建築業、保育士、調理師に分かれ、様々な話を聞くことができました。また、司会やお礼状などの係に分かれ、しっかりと自分の役割を果たすことができ、講話はとてもスムーズで和やかな雰囲気で行うことができました。

職業講話は、実際に働く方々からお伺いして、何のために働くのか、また働くとはどのようなことであるか、などについて考えを深めるものです。普段聞くことができない生の話を聞いたことが、職業について深く考えたり、自分は何に向いているかなどを考えたりするきっかけになればと思います。



～みんなの感想から～

今回の話を聞き、それぞれの今まで知らなかった過酷な面や仕事内容、また実際にその仕事をされていないと分からない喜びなどの一部をより詳しく、より現実的に知りました。それによって、「自分はこういうことが苦手だからこれは向いていないかも。でも、これは一生懸命できる気がする。」などと自分の向き不向きがどのような傾向にあるかを考えることができました。

私は、将来の夢はあるけど、そこまで強い気持ちでなりたいと思うものではなかったので、自分の将来が全然想像つかなかったけど、今回の職業講話を通して、夢を持つっていいことだなと思えたので、本当になりたいと思える職業を見つけたいと思いました。

なりたい職業になるには、どんな人が向いているかというものに当てはまるような生活をしていきたいと思った。これを機に、しっかりと自分に向いているものを考えようと思った。

自分は、前は、どれも嫌だな、と思っていたり、どの職業が稼ぎやすいか？などと考えていた。しかし、自分がやって、やりがいがあって楽しい職業に就いていきたいと思った。

今の自分は、営業する仕事は、あまり向いていないと思っていたが、将来の選択肢を増やすためにも、人とコミュニケーションをとることに慣れておこうと思った。

講話を聞いていると、今ついている職業の他にも、色々たくさん仕事をしてきておられるので、何でも挑戦していけばいいのではないかと思った。

私は、もうなりたい職業は決まっていたのですが、この職業講話を通して、色々幅が広がったし、「こんなのがあるんだ！」と初めて知ったこともたくさんあったので、良いきっかけとなりました。また機会があれば、いろいろな職業の方の話を聞きたいと思います。

自分のやりたいことをやれるというのが大切だと考えた。けど、何もせずにやりたいことだけするのは、限りがあると思ったから、今の内から勉強などの嫌なことも頑張ろうと考えた。

私は、警察官とパティシエの話聞いて、全然違う職業でも、「人のためになることをしたい」、「人を笑顔にしたい」などの思いは、似ているのだなと思いました。私も、将来、人のためになる職業に就きたいと思っているので、目標に向かって努力していきたいです。

調べるだけでは分からない、心がけや嬉しかったことなど、この仕事にもこんな楽しさがあると分かって、自分も人をお手伝いできる、また、嬉しい気持ちにできる仕事をしたいと思った。